

第65回「電波の日」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略:五十音順)

被表彰者	主な功績
かなつ ともひろ 金津 智洋 宮城県電波適正利用推進員協議会会長	宮城県電波適正利用推進員協議会会長として、電波の適正な利用に関する知識の周知啓発等に取り組み、電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。
むらた よしとし 村田 嘉利 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授	音声データ伝送に適応した無線センサーネットワークシステムの技術的条件に関する調査検討会の座長として、実証実験結果を踏まえた技術規格を取りまとめ、周波数有効利用の促進に多大な貢献をされました。

【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
株式会社秋田放送 (代表取締役社長 立田 聡)	災害発生時の中波ラジオ放送の継続を目的としたFM補完中継局を東北管内で初めて開設し、被災情報・避難情報提供の環境整備に先進的に取り組まれました。
株式会社エフエム岩手 (代表取締役社長 村田 憲正)	全国に先駆けて中継局放送による地域情報の発信のための実証運用を実施するとともに具体化モデルを提示し、単独ではラジオ放送局の開設が困難な地域における放送ネットワークの強靱化に多大な貢献をされました。
2014年度NHK・民放連共同ラジオキャンペーン「だから、ラジオ! ダカラジ」参加各社 (NHK盛岡・仙台・福島各放送局及びアイビーシー岩手放送・東北放送・ラジオ福島・エフエム岩手・エフエム仙台・エフエム福島)	東日本大震災の経験を踏まえ若い世代のラジオに対する認知を深めるため、「だから、ラジオ! ダカラジ」をテーマとし東北三県のラジオ放送事業者9者の共同キャンペーンを実施するなど、ラジオの普及・発展に多大な貢献をされました。
福島県企画調整部情報政策課 (部参事兼課長 松崎 健一)	福島県内全地域への地上デジタル放送移行の周知・啓発に努めるとともに、共聴施設の新設・改修に対する単独補助事業を創設するなど難視対策に尽力し、円滑な移行に多大な貢献をされました。